

一般財団法人 住総研  
**2024 年度 出版助成申請書**

(各項目はもれなく記入のこと)

作成日 (西暦) 年 月 日

一般財団法人 住総研 御中

(ふりがな)

申請者 (著者代表) 氏名 .....

下記条件により、貴財団の出版助成を申請します。

記

1. 著書題名 .....
2. 著者・編者名 (著作権者) 複数の場合は代表 ..... (全員で 人)
3. 出版社名 (未定の場合は、その旨記載) .....
4. 出版部数 (B) ..... 部
5. 出版体裁 ..... 判 ..... 組 ..... ページ
6. 発刊予定日 ..... 年 ..... 月 ..... 日
7. 出版経費
 

直接生産費 (a) ..... 円 (内訳は別紙直接生産費計算書による)

印税・営業・宣伝費 (b) ..... 円 (取次書店流通経費含まず)

総原価 (A) = (a) + (b) = ..... 円
8. 1部当たり原価 (C) = 総原価 (A) ÷ 発行部数 (B) = ..... 円
9. 定価 ..... 円 = 一部当たり原価 (C) ÷ 卸売係数 (D) ..... %
10. 助成希望額 (E) ..... 円 = (直接生産費 (a) の ..... % ← 30%以下)
11. 助成後の定価 ..... 円 = {総原価 (A) - 助成希望額 (E)} ÷ 発行部数 (B) ÷ 卸売係数 (D)

12. 申請者(著者代表)連絡先及び所属機関

申請者(著者代表)氏名・かな	
生年(西暦)/年齢	19 年/ 歳
所属機関・職名	
所属機関所在地	〒
所属機関 TEL・FAX	TEL FAX
所属機関 E-mail※( )	
自宅住所	〒
自宅 TEL・FAX	TEL FAX
自宅 E-mail※( )	
携帯電話番号※	

※ご希望の選考結果送付先(上記、所属機関または自宅E-mail)に「○」をつけてください。  
 ※日中、必ず連絡のとれる電話番号(携帯)も記載してください。

13. 著者名(氏名・所属機関・職名)

申請者(著者代表)

他の著者

---



---



---



---



---



---



---

14. 申請者(著者代表)研究歴

氏名・かな	
研究歴 (学位の有無、研究歴を記入)	

15. 著者（申請者以外）全員の氏名・所属機関・職名・略歴（欄が足りない場合コピーして使用）

<b>氏名・かな</b>	
<b>研究歴</b> (学位の有無、研究歴を記入)	

<b>氏名・かな</b>	
<b>研究歴</b> (学位の有無、研究歴を記入)	

<b>氏名・かな</b>	
<b>研究歴</b> (学位の有無、研究歴を記入)	

<b>氏名・かな</b>	
<b>研究歴</b> (学位の有無、研究歴を記入)	

<b>氏名・かな</b>	
<b>研究歴</b> (学位の有無、研究歴を記入)	

<b>氏名・かな</b>	
<b>研究歴</b> (学位の有無、研究歴を記入)	

**16. 出版の目的** ※住生活の向上に役立つ点についても必ずご記入ください。

---

17. 出版物の解説と特色 **※記入欄が足りない場合は、次ページに自由に記載してください。**

---

## 18. 出版物の構成（目次）

---

## 19. 書籍の仕様

---

(                    ) 判、 (                    ) 頁、 (                    ) 並製本・カバー付き等を記入してください )

## 20. 献本の予定

---

## 21. 既往の関連研究及び出版物 (著者全員のもの)

---

## 22. 本出版助成申請と当財団研究・実践助成との関係 (☑をしてください)

①本出版申請は、当財団の研究・実践助成の成果の一部ですか。  はい  いいえ

はいの方 →助成 No と主題を以下にご記入ください。

助成 No.

主題：

## 23. 当財団の出版助成金取得実績 (☑をしてください)

取得したことがある  取得したことがない

---

**24. 当該出版物の他機関等からの出版助成金申請状況（☑をしてください）**

現在、申請中である（本助成応募締切時点で、結果が未決定の場合）

本助成応募締切時点で、申請する予定はない

※本助成応募締切時点で、他機関等から出版助成を受けることが決定している場合は応募できません。

**25. 当申請に対して、出版社との合意状況（☑をしてください）**

合意は、いまのところない

出版承諾書をもらえる段階

出版社折衝中

**26. 当申請の分野（☑をしてください） 主な分野2つまでとします。**

II 都市・地域     III 集住・住戸     IV 高齢者・障がい者・福祉・居住弱者     V 建築社会システム

VI 環境・エネルギー     VII 構工法・生産     VIII 歴史     IX 災害・復興     X 教育     XI その他

以 上